

◎市立学校敷地内で発生した事故について

1 事故発生日時

令和3年3月6日（土）午前10時頃

2 事故発生場所

市立小学校敷地内の校舎裏山

3 事故発生状況

小学校近隣在住の男性（当時74歳・以下A氏）が、チェーンソーを使用して木の伐採を行っていたところ、自ら切った倒木に挟まれ、お亡くなりになる事故が発生しました。

4 事故の経緯について

当該校では、従前から草刈りや樹木の手入れを行っているPTAを中心とするボランティアグループが活動しており、学校裏山を整備していただいていた。

令和2年7月頃、活動の中心的人物（以下B氏）がナラ枯れ（木に虫が侵入して菌が繁殖し枯れてしまう病気）の被害に気づき、独自に被害状況の調査を始めました。

11月下旬、B氏とA氏を含む近隣住民の有志が、上記グループのボランティア活動とは別に、ナラ枯れ対策として、休日にチェーンソーを使って木の伐採を始めました。

12月中旬に伐採を知った学校は、B氏へチェーンソーを使った危険な伐採を行わないように、また、令和3年1月下旬には、学校管理課からB氏へ、ナラ枯れ対策として、虫の侵入を防ぐ効果がある防護シートを木に巻き付けることを提案し、危険な伐採を止めるよう話しました。2月中旬には、B氏とA氏を含む近隣住民の有志による防護シート巻きが実施されました。

その後も独自の活動により伐採が継続され、これを知った学校管理課は、再度、3月5日にB氏に伐採を止めるよう注意しました。しかしながらA氏へは伝わっておらず、事故当日は、単独で伐採を行っていました。

3月9日、学校敷地内での事故であったため、学校長らが葬儀へ参列し、ご遺族へお悔やみを申し上げました。

5 事故後の対応について

当該校においては、裏山でのボランティア活動を中止しました。また、3月15日、学校管理課から各学校長あてに通知し、各学校から、学校敷地内で活動を行う方に連絡を取り、活動にあたっては、安全を確保しチェーンソー等を使用した危険な作業を行わないよう伝えることとしました。

今後、近隣住民が学校敷地内で行う活動については、学校と近隣住民がより一層の連絡連携を図り、安全な作業が行われるようにしてまいります。